

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：天才キッズクラブ楽遊館綱島園	種別：地域型保育事業
代表者氏名：五味川亜実	定員（利用人数）：19（18名） 名
所在地：〒223-0052 横浜市港北区綱島東1-12-2	
TEL：045-642-8815	
ホームページ：http://www.tensaikids.jp/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社TKC	
職員数	常勤職員： 7名 非常勤職員： 4名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：（常勤）6名（非常勤）3名 子育て支援員：（常勤）1名
	看護師：（非常勤）1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：1
	（設備等）トイレ：1ヶ所、調理室：1、事務室：1、園庭：有（60m ² ）

③理念・基本方針

<法人理念>

子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指し、子どもの最善の利益を考え創意工夫を図る

<保育理念>

「ダメな子なんていない すべての子が天才である」という信念に基づき、色々なことにチャレンジし、成功体験と失敗体験をたくさんすることで、「生きる力」を持った子どもたちを育てる

<基本方針>

乳幼児それぞれの時期に、一人一人の子どもの天から授かった潜在能力を引き出し、IQ(学力) EQ(心力) GQ(元気力)のバランスの良い子どもを育てる。

- ・教えない
- ・競争する
- ・子ども扱いしない
- ・習慣・体づくり

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・保育者は、園児が自ら楽しんで身体を動かしたり学習ができるように努めています。そのために、まず保育者自らが保育を楽しみ、園児に、リトミック・体操・ミュージカル・英語のプログラムを提供しています。
- ・運動では、0歳児クラスからマラソン（園内外で走る）を始め、身体づくりを行っています。2歳児の卒園までには、ブリッジができることを目指しています。健康な体を作り、目標に向かって努力を続ける中で、成長する喜びをみなで分かち合い、園児の自己肯定感を養います。
- ・また、挨拶をすること、がんばっている友だちを応援することなども大切にしています。毎日の朝の会や夕の会では、クラスの中から1人か2人をピックアップし、その子のよいところを皆で祝福をします。
- ・保育者は、安心・安全な環境作りを最優先として、園児それぞれの特性に着目し、よいところを伸ばすように工夫を凝らした保育に取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年10月28日（契約日） ～ 令和4年4月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一 回（ 一 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)園と保護者が子どもの24時間の様子を共有し、信頼関係を確立しています

園では、記録・連絡帳アプリケーションに園での子どもの様子を書き込み、その日のうちに写真付きで送信できるようになっています。保護者は仕事の合間にも子どもの様子を知り、安心することが出来ています。家庭での生活環境で気になることや悩みなどもアプリケーションを使って園に伝えることができ、保育士から専門的な助言などが返信されてきます。家庭と園の連続性を持った子どもの生活の全体像を把握し、一人ひとりの環境に適した丁寧な個別支援を行っています。子どもの様子を保護者と園が24時間共有することができ、信頼関係を確立しながら子どもの育ちを共有しています。

2)いつも笑顔で、ほめ合い、励まし合う気風を作っています

子どもも大人もお互いに認め合い、励まし合い、ほめ合う中で、自己肯定感を高めていくことを保育理念とし、組織風土にしています。「スーパーハッピー」という取組では、毎日、子ども一人ひとりの成長点、頑張った点をとりあげ、皆の前で披露します。職員も週一回、職員同士の良いところをほめ合い、カードに書いて掲示しています。互いに良いところを認め合い、足りないところは励まし合って補うように心がけています。

3)戸外活動、散歩ルート of 安全対策が徹底しています

園内の安全点検はもちろんのこと、散歩中の安全対策にも力を入れています。散歩ルートが決められており、散歩先の公園の情報、途中の交通量の多い箇所、横断で気を付ける箇所などをマップにし、玄関に掲示しています。公園の遊具を使用する上での留意点、転ぶと危険な箇所、障害物などが写真付きでわかりやすく紹介されています。戸外活動

後はさらに注意の必要な箇所を追記し、一つひとつの課題の見直しや改善策を職員間で検討しています。園は浸水指定区域内にあり、避難先はバギーや子どもの足で1時間程の大学施設のため、リスクが少なく、安全で効率的に避難できるルートや避難方法を常に話し合い、訓練に反映しています。年度初めに、すべての散歩ルートを職員が点検に歩き、情報を更新しています。

◇改善を求められる点

1) 中・長期計画と課題解決につながる事業計画の策定

園の中・長期計画を策定することが課題です。開園6年目となり、保育体制が安定し、地域での一定の評価も獲得してきたようです。そのうえで近い将来にどのような保育園をめざすのか、中・長期の計画を描いていくことを期待します。単年度の事業計画は策定されていますが、中・長期をふまえつつ、毎年の振り返り、課題達成を評価しながら一步一步向上できるような内容に改善することが課題です。

2) 期待される職員像の具体化

毎月の自己評価活動で、職員としてどうあるべきか、という行動基準に基づいた振り返りが実施されています。保育の専門分野においては「人権擁護セルフチェック」、あるべき職員像は研修を通して周知するようにしています。今後は、保育職員としてどのような言動が望まれるのか、保育場面に応じて子どもの尊厳を大切する保育はどういうものかなど、保育の専門分野における期待される職員像を具体化し、まとめていくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けるにあたり、職員全員で園の自己評価のために振り返りを行いました。話し合うことで、園の強みや課題点について改めて確認することができ、来年度に向けて改善できること、明日から、今から改善できることを見つけることができました。訪問調査では、事前に自己評価したものを参考にお話をさせていただき、出来ているところに改めて気付かせていただきました。課題点は、出来ていないことの指摘ではなく、次につながるための提案をしてくださり、次の保育に期待を持ち取り組むことができました。

全職員で園について話し合う時間はなかなか取れないため、良い機会をいただくことができました。

訪問調査でも、出来ていることに改めて気付かせていただき「私たちは頑張っている！」と自信を持つことができました。

見つけられた課題点をぜひ次に生かし、より良い保育園づくりを行っていきます。

この度はありがとうございました。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり